

民生児童委員

問 委嘱状況と側面的支援について

答 任期は3年でことしが改選時期となっております。市内17カ所で推薦準備会を開催し、市の推薦会を経て、県から国への推薦の後、12月1日付で厚生労働大臣から委嘱されたところです。

今回委嘱されました民生児童委員は163人となっております。その内訳については、新任が59人、再任が104人、男性が74人、女性が89人。年齢構成は、民生・児童委員は75歳未満が133人、75歳以上が4人、主任児童委員は55歳未満が18人、55歳以上が8人となっております。

各地区の推薦準備会においては、候補者の推薦基準等に基づき入念に御審議をいただき、選考していただいたところですが、複雑多様化する社会経済情勢の中、民生児童委員さんの活動も大変困難になってきており、全国的には欠員の生じている自治体も多数あるようですが、当市においては推薦

準備会の皆様の御尽力により欠員が生じるようなこともなく、定数163人全員の委嘱ができました。

側面的な支援については、現在他市町における活動報酬や民生児童委員協議会に対する活動補助金等の状況を調査して検討を重ねているところです。平成23年度予算においては、少しでも委員の皆さんの活動に対し支援できるよう待遇改善について御提案させていただきましたと考えています。

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金

問 事業の取り組みと啓発について

答 国の平成22年度補正予算において、円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策に位置づけられ、都道府県に基金を設置し、平成23年度までに期間を限定して、国2分の1、市町村2分の1の負担割合により財政支援を行うこととされています。この交付金の対象としては、子宮頸がん

予防ワクチンのほか、乳幼児の髄膜炎を予防するHibワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの3種類のワクチン接種に対して助成を行うものとなっております。

当市も、本制度の創設に伴い、子宮頸がんや髄膜炎の予防に積極的に取り組んでいきたいと考えており、実施する方向で準備を進めています。

また、ワクチン接種の対象者については、国の基準に基づき子宮頸がんワクチン接種については平成23年度における中学生と高校1年生の希望者、Hibワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンについてはゼロ歳から4歳までの乳幼児とさせていただきます。3つのワクチンとも個別での接種をお願いしたいと考えています。今後、ワクチン接種に向けまして喜多医師会とも十分協議を行うとともに、学校や保護者に対して説明会を行うなど正しい知識の普及啓発を図り、混乱を招くことのないよう対応していきたいと考えています。

今回のワクチン接種助成事業については平成23年度までとなっておりますが、平

成24年度以降のワクチン接種については、予防接種法が改正され、3種混合のよくな定期予防接種となるのか不透明ですが、引き続き国の補助事業により継続できるよう強く求めていきたいと考えています。

ペレットストーブ導入とバイオマスタウン構想

問 推進方針について

答 木質ペレットは樹皮や枝、製材の廃材、間伐材などを原料とした取り扱いが容易な固形燃料であり、二酸化炭素排出量の削減につながる新しいエネルギーとして注目をされています。

現在愛媛県では県内で発生する木質バイオマス資源の有効利用や環境負荷に寄与することを目的として市町が実施をする公共的施設等へのペレットストーブの導入に際し、愛媛県森林環境税を活用した支援事業に取り組んでいるところです。

今回導入する予定のペレットストーブは、この愛媛県の補助事業を活用し、大洲

まちの駅あさもやの観光案内所に設置するもので、多くの市民の皆様や来館者に木質ペレットの利便性を体験していただき、ペレット燃料の普及と利用拡大を推進したいと考えています。

また、市内においてもペレットボイラーを設置した農業ハウス施設が稼働しているほか、家庭用のペレットストーブも、普及し始めているところですが、今後においても、市内の公共施設等への導入を考えています。が、暖房施設が既に整備されている施設へは二重投資になること、また装置が固定されるため容易に移動ができないこと、購入価格が



広常のタブノキ（肱川町大谷）